

高 円 宮 賜 杯
第 3 8 回 全 日 本 学 童 軟 式 野 球 大 会
マクドナルド・トーナメント

実施要項

1. 主催 公益財団法人全日本軟式野球連盟、スポーツニッポン新聞社、全国新聞社事業協議会、東京新聞
2. 主管 全日本軟式野球連盟東京都支部（公益財団法人東京都軟式野球連盟）
3. 後援 東京都、町田市、府中市、府中市教育委員会、稲城市教育委員会、昭島市教育委員会、公益財団法人東京都体育協会、東京中日スポーツ
4. 協力 明治神宮外苑、公益財団法人野球殿堂博物館、一般社団法人日本野球機構、プロ野球12球団、一般社団法人日本プロ野球選手会
公益社団法人全国野球振興会、ミズノ株式会社（申請予定）
5. 特別協賛 日本マクドナルド株式会社
6. 会期 平成30年8月19日（日）～24日（金） 6日間
7. 会場 (A) 明治神宮野球場 (B) 小野路球場 (C) 府中市市民球場 (D) 稲城中央公園野球場 (E) ネット多摩昭島スタジアム
8. 出場チーム 各府県45、北海道2、東京都2、前年度優勝1（東16丁目フリッパーズ）、開催地1、計51チーム
※代表旗は開会式当日会場で貸与する。
9. 出場資格 (1) 小学生で編成されたクラブチーム
(2) リトルリーグおよび日本少年野球連盟など、硬球を使用球としている団体連盟に登録（参加）している者の出場は認めない。
(3) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会に参加申込み（登録）をしているチームとその構成員の出場は認めない。
(4) 1チームのメンバーは監督1名、コーチ2名を除いて選手10名以上20名以内とする。
(5) 20歳以上の責任者（引率責任者・監督が兼ねてもよい）をチーム代表者として届出しなければならない。
(6) 各都道府県の予選に優勝し、且つその支部長の推薦を受けたものであること。
(7) 各都道府県予選会当時の出場メンバーに変更なく出場すること。
10. 注意事項 別紙、注意事項参照
11. 適用規則 2018年度公認野球規則、2018年版競技者必携学童野球に関する事項および別に定める特別規則を適用する。
12. 大会規律 不正出場その他規律違反に対しては公益財団法人全日本軟式野球連盟規程細則により処理する。
13. 使用球 公益財団法人全日本軟式野球連盟公認球（C号）を使用する。
14. 参加申込み 出場資格を得たチームは所定の参加申込書を所属都道府県支部へ7月17日（火）までに提出すること。各都道府県支部は提出された参加申込書をE-Mailにて全軟連へ送付すること。大会出場同意書は下記へ7月17日（火）までに必着するよう郵便にて送付すること。
*参加申込書提出後の選手の追加、変更および背番号の訂正も認めない。
(1) 参加申込書は各都道府県支部がE-mailにて全軟連に提出すること。
(2) 大会出場同意書は下記へ郵送にて送付すること。*提出期限は厳守すること。
〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-21-5 公益財団法人 東京都軟式野球連盟 内
15. 参加料 参加料は1チーム20,000円とし、8月19日（日）の監督主将会議で納入すること。
16. 組合せ抽選 下記のとおり代理抽選をする。
(1) 日 時 平成30年7月19日（木）14時00分
(2) 会 場 公益財団法人 全日本軟式野球連盟 会議室
17. 監督主将会議 下記のとおり行う。監督・主将は必ずユニフォームで出席し、2018年版競技者必携を持参すること。（スパイクを禁ず。）
(1) 日 時 平成30年8月19日（日）9時00分 ※別紙注意事項を参照のこと。
(2) 会 場 日本青年館ホテル 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1 TEL:03-3401-0101
18. 開 会 式 下記のとおり行う。
(1) 日 時 平成30年8月19日（日）11時00分
(2) 会 場 明治神宮野球場 東京都新宿区霞ヶ丘町3-1
19. 表 彰 第1位…高円宮賜杯、賞状、優勝旗（持ち回り）、楯、メダル 第2位…賞状、楯、メダル 第3位…賞状、楯、メダル
20. 参 加 賞 出場チームに対しては、参加賞を贈る。
21. 宿舎の斡旋 (1) 宿舎は実行委員会において割り当て、組み合わせ決定後に通知する。
(2) 出場チームは宿泊交通その他申込書に斡旋の要否等所定事項を記入の上、斡旋業者へ送付すること。
※斡旋業者については、宿泊交通の申込案内と一緒に後日ご連絡致します。
(3) 宿舎申し込み締め切り後の取り消しは、そのチームにおいて違約の責任を負うものとする。
(4) 宿泊費は2泊4食付き25,000円～33,000円（税・サービス料含む）とする。*小学生以上同額
22. 旅費・宿泊費 大会出場のための旅費、宿泊費は参加チームの負担とする。
23. そ の 他 (1) 選手、監督、コーチはユニフォームに背番号（選手0番より99番・監督30番・コーチ28番・29番・主将10番）左袖に都道府県名をつけ、右袖にマクドナルドワッペンをつけること。
(2) 試合中打者、次打者、走者及びベースコーチは連盟公認の両耳付ヘルメット、捕手は連盟公認のヘルメット・マスク・プロテクター・レガーズを着用しなければならない。木製バット以外は、連盟公認のバットであること。
(3) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1日7イニングまでとする。ただし、特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り1日最大9イニングまで投げることができる。なお、学童部3年生以下にあっては、1日5イニングまでとする。
投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては、3分の1回（アウト1つ）未満であっても、1イニング投球したものと数える。
(4) 7回を完了して同点の場合は、引き続きタイブレーク方式（特別延長戦）を行い、9回を完了しても決着がつかないときは、抽選で勝敗を決定する。決勝戦の場合は、投手の投球制限を順守の上、勝敗が決するまでタイブレーク方式を続行する。
(5) 監督及び当該選手に限り抗議することが許される。
(6) 大会参加の際、健康保険被保険者証又は、これに準ずるものを持参すること。
(7) あらかじめ2018年版競技者必携、特に学童野球に関する事項を熟読しておくこと。
(8) 試合に出場する捕手、およびブルペンの捕手はファウルカップを着用すること。
(9) 大会についての問い合わせは、各チーム責任者のみとしてください。（厳守）
(10) チームの責任は、チーム代表者または責任者において、責任を負うものとする。
(11) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すが、それ以外の責任は負わない。
(12) 大会中、受動喫煙防止に努め、喫煙可能区域以外での喫煙を厳禁とする。なお、喫煙区域内でも未成年者の前では配慮すること。
(13) 全国瞬時警報システム（Jアラート）が発令された場合、競技者は大会運営者ならびに審判員の指示に従うこと。